

平成29年第1回定例会6月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。通常、本会議は午前10時から開催されます。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

発言順位

6月16日(金)

(1)	宮坂	祐太	議員	(民主連合)P	1
(2)	千住	啓介	〃	(真誠会)P	2
(3)	梅田	宏希	〃	(公明党)P	3
(4)	永井	俊作	〃	(未来市民)P	4
(5)	寺井	吉広	〃	(真誠会)P	6

6月19日(月)

(6)	松井	久美子	〃	(公明党)P	7
(7)	中西	礼皇	〃	(未来市民)P	8
(8)	国出	拓志	〃	(公明党)P	9
(9)	丸谷	聡子	〃	(未来市民)P	10

6月20日(火)

(10)	北川	貴則	〃	(未来市民)P	12
(11)	辻本	達也	〃	(日本共産党)P	15
(12)	家根谷	敦子	〃	(スマイル会)P	16
(13)	楠本	美紀	〃	(日本共産党)P	17

※ 順位については予定です。

平成29年第1回定例会6月議会発言通告一覧表

発言順位	1	議員名	宮坂 祐太(民主連合)
<p>発 言 事 項</p>	<p>1 事業所税について</p> <p>(1) 事業所税に対する市の認識について (要旨) 近年の住民基本台帳人口の増加傾向や明石市人口ビジョンを踏まえると、今後、本市は一時的であるとはいえ、事業所税課税団体として総務省から指定される可能性が高まっています。 国においては昭和50年の事業所税創設時の目的を踏まえたあり方が検討課題として挙げられていますが、行政サービスと事業活動の受益関係や、中核市移行に伴う権限移譲という論点も踏まえ、事業所税に対する市の認識についてお伺いします。</p> <p>(2) 事業所税課税団体となった場合の市財政への影響について (要旨) 過去の議会答弁において、事業所税を課税することに伴う新たな財源の確保についての試算が示されていますが、地方税法第701条の73で規定されている事業所税の用途や、地方交付税交付額との関係も踏まえ、本市が事業所税課税団体となった場合の市財政への影響についてお伺いします。</p> <p>(3) 事業所税課税団体への指定に備えた検討状況について (要旨) 課税開始までの限られた時間の中で、いかにして事業所の理解を得ていくか等、事業所税課税団体への指定に備えて、十分な検討を進めていく必要があると思いますが、市の見解をお伺いします。</p>		

発言順位	2	議員名	千住 啓介(真誠会)
発言事項	<p>1 市民の生命と財産を守る施策について</p> <p>(1) 緊迫する北東アジア情勢を踏まえた国民保護計画について (要旨) 北朝鮮が弾道ミサイルを頻繁に発射している。世界平和を希求する国際社会の意思を無視する暴挙である。市として、市民の生命を守るために、国民保護計画に基づき的確な情報を市民にしっかりと伝え、有事に備えるべきと考えるが、見解を問う。</p> <p>2 豊かな人間性を育む教育環境の充実について</p> <p>(1) 知力・体力・徳力をバランスよく育める教育施策について (要旨) これからのふるさと明石、日本を担う人材を育成していくために、質の高い教育、そして安心して学べる環境を整える必要があると考える。そのために、学校、地域、家庭の連携はもとより、それぞれが教育力の強化に努める施策を実施すべきと考えるが、見解を問う。</p> <p>3 まちの魅力向上による景気回復で財政健全化を目指すことについて</p> <p>(1) 人口増を目指す公共投資について (要旨) 人口がふえれば市税もふえる。昨年のB-1グランプリの優勝により全国的に注目されている今だからこそ、「住みたい、住み続けたい」と思える新たなまちづくりへの投資を行うべきと考えるが、見解を問う。</p> <p>(2) 多くの方が明石に「行きたい」と思える施策について (要旨) B-1グランプリ西日本大会2017や、市制100周年記念事業、明石城築城400周年事業など、多くの方に明石へ来ていただくことが期待できる事業が予定されている。この好機を明石の元気につなげるべく、景気高揚につながる観光施策を積極的に行うべきと考えるが、見解を問う。</p>		

発言順位	3	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<p>1 教員が本来の業務に専念できる環境確保について</p> <p>(1) 教員の働き方を改善することについて (要旨) 文部科学省が平成29年4月28日に公表した公立小中学校の教員勤務実態調査では、1カ月の時間外勤務が80時間を超える教員が小学校で33.5%、中学校では57.7%おり、過酷な勤務実態が明らかになった。 業務の改善を行うには、まず教員の働き方の価値観の転換が必要であり、管理職がリーダーシップを発揮して教員の意識を改革し、心身ともに健康な職場づくりを行うことが必要ではないか。</p> <p>(2) 子どもと向き合う時間を確保する方策について (要旨) 教員の長時間勤務を改善し、子どもと向き合う時間を確保するために、ICT化をさらに進め、統合型校務支援システムの導入を検討するほか、部活動指導員を学校職員に位置づけるなど、教員をサポートする体制づくりが有効であると考えます。学校現場でできることは限られており、本来の業務に専念できる環境確保のために、教育委員会が学校現場を支援するためのイニシアチブを発揮することが大事ではないか。</p> <p>2 就学援助における国の補助金要綱の改正について</p> <p>(1) 準要保護児童生徒に対する新入学学用品費の補助について (要旨) 文部科学省は要保護児童生徒援助費補助金要綱を平成29年3月31日付で改正し、補助金の支給対象者に就学予定者を新たに加えた。このことにより、新入学学用品費の前倒し支給が可能になり、支給単価も倍増した。 一方で、準要保護児童生徒については、市が単独で実施することになっているが、どのように取り組むのか。</p> <p>3 ふるさと納税について</p> <p>(1) 平成28年度の実績に対する見解について (要旨) 平成28年度に本市のふるさと納税を見直し、施策応援型のふるさと納税「明石まちづくり応援プラン8」として再スタートしたが、この実績に対する評価と課題についてお聞きしたい。</p> <p>(2) ふるさと納税の充実について (要旨) 本市のふるさと納税は、見直しにより、平成27年度の109件から平成28年度は461件に増加しており、一定の評価をするが、総務省は平成27年度に控除限度額の引き上げなどの制度拡充をし、さらに各自治体も創意工夫に努めている。総務省が示す意義を踏まえ、本市の今後の取り組みについてお聞きしたい。</p>		

発言順位	4	議員名	永井俊作(未来市民)
発言事項	<p>1 若者の自殺対策について</p> <p>(1) 本市の自殺者数の現状と対策について (要旨) 厚生労働省が公表した平成29年度版自殺対策白書によると、5歳刻みの年齢区分のうち、15歳から39歳までの5つの階層で死因の第1位が自殺となっている。しかも、第2位の不慮の事故のおおよそ2倍から3倍の値となっている。本市の現状と対策を聞く。</p> <p>(2) 本市の相談・支援体制について (要旨) 自殺は心理的に追い込まれた末の死であり、相談・支援体制の整備、充実が不可欠と考える。本市の考えと体制はどうか。</p> <p>(3) 本市の精神保健施策について (要旨) 長時間労働による過労やパワハラ、非正規労働者の生活苦等に起因すると思われる精神疾患が自殺の一因となっている。市と県の連携や自殺防止のための啓発、生きることを支援する人材(ゲートキーパー)の養成が必要である。</p> <p>2 明石市地域防災計画について</p> <p>(1) 連動型地震、群発地震対策について (要旨) 従来の本震・余震の発想ではなく、南海トラフ地震と中央構造線断層地震、山崎断層地震が連動した場合の連動型地震や群発地震に対する啓発や対策が必要である。</p> <p>(2) 自治組織における市民力の活用について (要旨) 男女共同参画の観点も踏まえ、女性の目線を防災対策に反映させるために、明石市防災会議に女性委員をもっとふやすべきである。 また、避難所の管理、運営を市民が担う体制づくりが必要である。</p> <p>(3) 災害ボランティアセンターの事前立ち上げについて (要旨) 事前に災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災場所や被災状況を想定した災害対策マニュアルを作成しておき、いざというときに機能するように準備を進めるべきではないか。</p> <p>(4) 災害仮設住宅及び復興住宅の建築準備について (要旨) 現段階から、災害仮設住宅及び復興住宅の用地の確保や、建築確認申請書を作成しておくべきではないか。</p> <p>(5) 原発事故対策について (要旨) 原発事故の際、本市は、関西広域連合のガイドラインに基づき、京都府宮津市民を受け入れることになっているが、その際の放射性物質の除染や、受け入れ避難所の管理、運営等について計画に盛り込むべきである。</p>		

発言順位	4	議員名	永井俊作(未来市民)
発 言 事 項	<p>3 明石市のいじめ対策について</p> <p>(1) いじめの認識について (要旨) 宮城県仙台市と茨城県取手市の教育委員会は、中学生が自殺した問題について、当初、いじめはないと公表していたが、文部科学省の指導を受けた直後に一転していじめを認め謝罪した。いじめは生命にかかわるとの認識を共有し、いじめ重大事態について基準の明確化が必要である。</p> <p>(2) いじめの調査方法について (要旨) 子どもや保護者等が発見したいじめについて、どのような方法で把握しているのか。</p> <p>(3) いじめの未然防止対策について (要旨) スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを増員するとともに、保護者や地域と連携し、相談しやすい環境づくりが必要だと考えるが、取り組みを聞きたい。</p> <p>(4) いじめの解消と再発防止対策について (要旨) 教師間での情報共有の取り組みだけでなく、子どもや保護者への啓発など、いじめ解消の重要性を認識し、再発防止にどのように取り組んでいくのか聞きたい。</p> <p>4 受動喫煙防止について</p> <p>(1) 受動喫煙の現状について (要旨) 厚生労働省によると、受動喫煙をした人の罹患リスクは高く、たばこを吸わない人に比べ、肺がんは1.3倍、虚血性心疾患は1.2倍、脳卒中は1.3倍、乳幼児突然死症候群は4.7倍であるとされている。市としての現状認識について聞きたい。</p> <p>(2) 明石駅前に設置されている喫煙所について (要旨) 明石駅前広場の交差点付近や再開発ビルのエスカレーター付近で、たばこの煙や臭いが喫煙所から流れてくる時がある。受動喫煙の防止対策を聞きたい。</p>		

発言順位	5	議員名	寺井吉広(真誠会)
発言事項	1 ギャンブル依存症対策について		
	(1) ギャンブル依存症の現状について (要旨) カジノを含む統合型リゾート整備推進法、いわゆる I R 推進法が昨年の臨時国会で成立したが、ギャンブル依存症に対する本市の現状認識はどうか。		
	(2) ギャンブル依存症の今後の対策について (要旨) 政府はギャンブルやアルコールなど各種依存症の対策強化費用として、平成 29 年度予算に前年度の 5 倍にあたる約 5 億円を計上している。本市の対策はどのように考えているか。		
	(3) 民間団体との連携について (要旨) 大阪府にカジノが誘致される可能性が高いが、誘致されれば近隣である明石市においてもギャンブル依存症に罹患する人がふえると考えられる。カジノができてから対策を講じるのでは遅すぎる。依存症の正しい理解を広めるための啓発を実施し、民間団体と連携した予防教育を進めるべきと考えるが、どうか。		
2 更生支援について			
(1) 更生支援の現状と今後の対策について (要旨) 軽度の知的障害者や認知症高齢者が、万引き等の軽犯罪を繰り返し、逮捕される事案が増加傾向にあると聞く。これらの方々が再犯に及ぶのは、社会的に孤立し、必要な支援を受けることができていないことが原因であると考ええる。このような支援対象者が市内にどのくらい存在するのか、また、本市では、現状を踏まえてどのような対策を考えているのか。			
3 認知症対策について			
(1) 認知症高齢者対策について (要旨) 高齢化の進展に伴い、認知症高齢者も急増している。改めて認知症対策を社会全体の問題として捉えるべきと考えるが、本市としての見解を問う。			
4 障害者の就労支援について			
(1) 就労支援の強化について (要旨) 市内の障害者就労支援の現状と、今後の国の基本指針に準じた就労支援強化の取り組みについて問う。			
(2) 障害者雇用の今後について (要旨) 障害者については、これからも行政が積極的に雇用していく必要があると考える。今後の市の方針はどうなっているのか。			

発言順位	6	議員名	松井久美子(公明党)
発言事項	<p>1 明石市の保育所待機児童の現状と解消に向けての対策について</p> <p>(1) 平成29年4月の待機児童の現状と今年度の取り組みについて (要旨) 平成29年4月の待機児童の現状と増加した要因、並びに解消に向けた今年度の取り組みについて聞く。</p> <p>(2) 平成30年4月の待機児童解消の見込みと保育士の確保について (要旨) 入所希望者がますます増加すると予測されるが、来年4月の見込みについてどのように考えているのか。また、保育の受入枠拡大に伴い必要となる保育士の確保について聞く。</p> <p>(3) 本市の第2子以降の保育料無料化など子育て世帯への負担軽減策の継続について (要旨) 子育て世代の転入増や出生数の増加により就学前児童数が増加していることから、保育所の入所希望者の増加が見込まれる。今後の第2子以降の保育料無料化の継続についてどのように考えているのか聞く。</p> <p>2 兵庫県立がんセンターの建てかえに伴う明石市の医療体制について</p> <p>(1) 兵庫県立がんセンターの建てかえは、本市の医療体制にどのような影響があるのか。 (要旨) 建てかえに伴う有識者検討委員会が発足すると聞いているが、県内唯一の都道府県がん診療連携拠点病院の建てかえは、本市の医療体制にどのような影響があるのか。</p> <p>(2) 明石市立市民病院の果たすべき役割について (要旨) 明石市立市民病院には、兵庫県立がんセンターとの役割分担を明確にした医療体制の確立を期待する。</p> <p>3 明石駅前再開発ビル、パピオスあかし内の子ども関連施設について</p> <p>(1) 市内小学生のあかし市民図書館の活用状況について (要旨) 市内全域の子どもたちの図書館利用が進むよう、まずは市内の小学生を対象としてあかし市民図書館への見学会を開催してはどうか。</p> <p>(2) 親子交流スペース「ハレハレ」の利用状況と利用方法について (要旨) 土日、祝日はかなり待ち時間があるようだが、現在の利用状況はどうか。利用方法について検討してはどうか。</p>		

発言順位	7	議員名	中西礼皇(未来市民)
発 言 事 項	<p>1 JT跡地を取得することの可否について</p> <p>(1) 用途について (要旨) 取得後の用途を決めずに取得できるのか。</p> <p>(2) 市民への説明について (要旨) 工場が建設されることを避けるという理由や、整形された広大な面積の土地というだけでは、取得する理由として不十分である。市民に対してどのような説明をするのか問う。</p> <p>(3) 取得のための財源について (要旨) 起債や補助金の対象となる見込みについて問う。</p> <p>2 保育所待機児童と保育料第2子以降無料化について</p> <p>(1) 待機児童数2年連続関西一について (要旨) 現状把握と対策、原因について認識を問う。</p> <p>(2) 保育料第2子以降無料化の影響について (要旨) 無料化を見直すべきであると考ええる。また、保育所入所率の高さへの認識を問う。</p> <p>(3) 保育環境の充実について (要旨) 保育所の定員を際限なく拡大するのか。また、保育の質はどのように確保するのか。</p>		

発言順位	8	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p>1 安全で安心して暮らせるまち明石を目指して</p> <p>(1) 市が主導して市内のコンビニ全店にAEDを設置しないか。 (要旨) 昨年6月の本会議質問での提案から1年が経過しましたが、現状はどうなっているのか。今後の設置のめどはどうか。</p> <p>(2) 学校・園のガラスに飛散防止フィルムを貼付しないか。 (要旨) 平成20年6月及び平成23年6月にこの問題を取り上げ、質問をしまいりました。学校の耐震化を優先的に行うということでしたが、その工事もほぼ完了しているため、そろそろ、ガラスの飛散防止フィルムの貼付に取り組まないか。</p> <p>(3) 学校・園に防災ずきんもしくはヘルメットを配置しないか。 (要旨) 災害時における子どもたちの安全・安心を考え、大事な頭を守るために、ぜひとも市内の全学校・園に配置すべきではないか。</p> <p>(4) 防災・減災教育について (要旨) 私が提案する子どもたちへの防災・減災教育とは、群馬大学の片田先生の言われる「想定にとらわれない教育」であり、子どもたちを通じて、学んだ防災・減災教育を家庭や地域に普及させていく教育のことを言います。 大人の言葉にはなかなか聞く耳を持たない人でも、子どもから言われると耳を傾けることもあると考える。</p> <p>(5) 孤独死撲滅に向けた取り組みについて (要旨) 緊急通報発信装置と人感センサーの設置などのハード面での対策についてお聞きしたい。</p> <p>2 合葬式墓地の完成に向けて</p> <p>(1) 合葬式墓地の竣工スケジュールについて (要旨) 現時点での概要、規模や利用条件、今後のスケジュールについて改めてお聞きしたい。</p>		

発言順位	9	議員名	丸谷 聡子(未来市民)
発言事項	<p>1 放課後児童クラブの課題とこれからについて</p> <p>(1) 現状の課題について (要旨) 昨年度末に10名の常勤指導員が退職したが、新規指導員の補充ができていない。また、主任指導員制度を導入したが1名しか採用できていない等、現状の課題をどのように認識しているのか。また、課題解決に向けてどのように取り組んでいるのか問う。</p> <p>(2) 支援の必要な児童への対応について (要旨) 本年3月の明石市子ども・子育て会議においても、支援が追いついていない等、多くの意見が出ていた。現在の対応状況はどのようになっているのか。また、今後の対策として、作業療法士等の専門家による支援や指導員、保護者、学校、地域等のチームで支える仕組みが必要ではないかと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 今後の組織体制について (要旨) 今後も放課後児童クラブの入所希望者数の増加が予想されるが、今の組織体制でやっていけるのか。これからは新しい発想での体制づくりが必要であると考え、市の見解を問う。</p> <p>2 地域支え合いの仕組みづくりについて</p> <p>(1) 生活支援体制整備事業について (要旨) 本年4月から介護予防・日常生活支援総合事業の取り組みが始まっている。地域支え合いの事業は、自治体ごとに推進体制や内容もさまざま、市民にはわかりづらい。本市ではコーディネーターが推進していくと聞いているが、具体的に誰が、どのように推進していくのか。</p> <p>(2) 地域総合支援における地域支え合いの取り組み状況について (要旨) 地域総合支援の地域課題解決のためにパイロット事業「地域支え合いの家」等、住民主体の場づくりに向けた取り組み状況を聞く。</p> <p>(3) 持続可能な地域支え合いの仕組みづくりについて (要旨) 地域支え合いを持続可能な事業としていくためには、無償ボランティアに頼る従来型の仕組みではなく、新しい官民連携の手法である社会的インパクト投資や休眠預金を活用する等、地域課題解決を目的とするコミュニティビジネスへの展開を考えてはどうか。</p>		

発言順位	9	議員名	丸谷 聡子(未来市民)
発言事項	<p>3 自然豊かな明石のまちづくりについて</p> <p>(1) 明石の大切な生きものを守るための施策について (要旨) 現在、生物多様性あかし戦略推進会議において、市民、専門家、関係部署との協働で、明石の大切な生きものリストを作成している。リストができれば、本市として守らなければならない生きものと場所が明確になる。本市に残された貴重な生きものや生態系をどのように守っていくのか、明石市の環境の保全及び創造に関する基本条例に規定されている自然保護地区や生物保護地区の指定等、保護、保全、再生への施策展開が急務である。今後の取り組みについて、市の見解を問う。</p> <p>(2) 生物多様性に配慮したまちづくりの拠点について (要旨) 自然豊かな明石のまちづくりを進めていくためには、生物多様性あかし戦略の推進を目的とした資料や情報の収集・発信、市民への啓発、地域や関係機関との連携を担う等の拠点として生物多様性センターの設置が必要だと考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	10	議員名	北川 貴 則 (未 来 市 民)
発 言 事 項	1 「日本一安全なまち明石」の実現のための危機管理について		
	(1) 木造住宅密集地域での消火活動について (要旨) 木造住宅密集地域での火災においては、道路が狭いために消防車が行く手を阻まれるなど、物理的に十分な消火活動を行うことができなければ、また、強風などの悪条件が重なれば、これまでに経験したことの無いような大惨事になりかねません。本市の消火対策は十分なのでしょうか。南海トラフ地震など、火災を引き起こすさまざまな要因にも対処できる必要がありますが、本市の取り組みについてお聞かせください。		
	(2) 30万都市にふさわしい救急体制について (要旨) 心肺停止など、予期できない緊急事態に備え、人口増を続けている本市の救急体制は万全なのでしょうか。最新技術を取り入れながら30万人の市民の命を守る取り組みをお聞かせください。		
2 福祉の充実について			
(1) 障がい者のための就労支援について (要旨) 障がい者の方々の社会適応能力を高めるためにも、温かい目で見守ってくれる職場環境づくりは大切です。行政が率先して民間企業に協力を促すなど、誰もが安心して過ごせる社会づくりへの取り組みをお聞かせください。			
(2) 子育て環境の充実について (要旨) 人口減少が深刻化する中、出生率を上げるためには、安心して子どもを育むことができる環境づくりも不可欠です。特に、子どもたちが貧困問題で困ることがないように、親の負担を軽減する方策として、国が教育の無償化を進めようとすることは大歓迎です。社会全体で未来の宝である子どもたちを育む本市独自の取り組みをお聞かせください。			
3 財政状況について			
(1) 平成28年度の一般会計の決算見込みについて (要旨) 財政再生団体に陥らないための取り組みは、成果を出せているのでしょうか。持続可能で、無理のない財政運営が求められます。平成28年度の一般会計の決算見込みについても、お聞かせください。			

発言順位	10	議員名	北川 貴 則 (未 来 市 民)
発 言 事 項	4 犯罪被害者等の支援について		
	<p>(1) 明石市犯罪被害者等の支援に関する条例の運用状況について (要旨) 被害者が声を上げられない社会にならないよう、犯罪被害者を支える施策は重要です。 本市では、犯罪被害者等から加害者に対する損害賠償請求権を譲り受け、最大300万円の賠償金を立て替える制度を新たに盛り込んだ改正条例を2014年4月から施行しています。その後の運用状況及び成果と、今後の取り組みをお聞かせください。</p>		
	5 2017明石のウミガメについて		
	<p>(1) 上陸・産卵時期を迎えた本年度のウミガメ保護について (要旨) 本市でのウミガメの産卵は、きれいな海と美しい砂浜を内外にPRすることになり、夢を与えてくれる明るい話題です。ウミガメが産卵に帰って来てくれることを祈る次第です。明石の浦島太郎物語、今季の取り組みをお聞かせください。</p> <p>(2) 本年度のウミガメ保護に関する青少年育成への取り組みについて (要旨) 本市の海では、これまでウミガメの上陸・産卵は約20回、そして1,000頭を超える小ガメが大海原に旅立ったとのこと。ぜひ、未来を担う子どもたちにウミガメと美しい砂浜を受け継いでいただきたいものです。本年度のウミガメ保護に関する青少年育成への取り組みをお聞かせください。</p>		
6 泉市政の課題と問題点について			
<p>(1) 住民発議の要件を定める住民投票条例の制定について (要旨) 住民投票は、民主主義において民意を反映するための制度ですが、本市では住民発議の要件を定める条例が制定されておられません。なぜ、本市ではこのような状態が続いているのでしょうか。今後の取り組みをお聞かせください。</p>			
<p>(2) 弁護士職員の急増について (要旨) このたび、新たに3名の弁護士職員の採用を予定されているとのこと。市民が利用する法律相談の充実をはかり、好評を得ている弁護士職員制度ですが、現在の7名では不十分なのでしょうか。30万都市では類のない大量採用が続くことに疑問を感じます。何事も限度を超えるとバランスを崩します。本市の今後の取り組みについてお聞かせください。</p>			

発言順位	10	議員名	北川 貴 則 (未 来 市 民)
発 言 事 項	<p>(3) 明石港の砂利揚げ場について (要旨) 現在、明石港は兵庫県が管理しています。昨年、県は砂利揚げ場を利用している民間企業への使用許可を平成31年3月末以降更新しない方針を表明しました。基礎自治体である本市は、率先してまちづくりをリードすることが求められます。そもそも、明石駅前南地区の再開発の認可申請を国に行った際、明石港の利活用計画を策定することが本市の責務として含まれておりました。海のまち、海峡交流都市を掲げる本市の本来のあるべき姿とかけ離れた現状から脱するためにも、今後の取り組みをお聞かせください。</p>		

発言順位	11	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p>1 斎場管理センターに係る諸問題について</p> <p>(1) ひび割れ・漏水の原因等に係る調査について (要旨) 漏水の発生時期について事実と異なる報告をしたことに関する原因の特定はされたのか。</p> <p>(2) ひび割れの発生原因について (要旨) 改めて認識を問う。</p> <p>(3) 三角地の整備について (要旨) 公費負担した工事の内容と金額について問う。</p> <p>(4) 庇(ひさし)の設置の取りやめについて (要旨) 庇の設置を取りやめた理由と、取りやめにより減額した工事費について問う。</p> <p>(5) 隣接地の四阿(あずまや)について (要旨) 建築確認申請が行われていないのはなぜか。</p> <p>(6) 水道の分水について (要旨) 不適切であり早急に改めるべきである。</p> <p>(7) 登録業者の選定について (要旨) 適正に行われているか。</p> <p>(8) 特別調査チームの取り組みについて (要旨) 進捗状況について問う。</p> <p>(9) 設計委託について (要旨) 明石工業高等専門学校との随意契約、その後に行われた委託先の変更など、当初から不透明な対応が行われていた。事業の進め方に問題はなかったか、見解を問う。</p>		

発言順位	12	議員名	家根谷 敦子(スマイル会)
発 言 事 項	<p>1 駅及び駅周辺のバリアフリーについて</p> <p>(1) ホームドアの設置について (要旨) JR明石駅及び西明石駅のホームドアの設置予定と、要配慮者に対する誘導案内をはじめとしたソフト面の安全対策についてお尋ねしたい。</p> <p>(2) 駅周辺の状況について (要旨) 市内の駅周辺のバリアフリー環境の現状と、今後の整備予定についてお尋ねしたい。</p> <p>2 ユニバーサルなまちづくりについて</p> <p>(1) 合理的配慮の提供について (要旨) 本年11月に本市で開催されるB-1グランプリ西日本大会2017では、多くの来場者が見込まれる。子どもや高齢者、障害者など合理的配慮を要する方への対応についてお尋ねしたい。</p> <p>(2) ユニバーサルツーリズム活動について (要旨) 高齢者や障害者も観光を楽しむことができるユニバーサルツーリズム活動が普及しているが、本市としてはどのように考えているのか、お尋ねしたい。</p> <p>3 全国手話言語市区長会について</p> <p>(1) 全国手話言語市区長会の現状と今後について (要旨) 全国手話言語市区長会が設立されて1年が経過するが、現状と今後の計画についてお尋ねしたい。</p>		

発言順位	13	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<p>1 国民健康保険について</p> <p>(1) 都道府県と市町村の共同運営になるとどう変わるのか。 (要旨) 2018年4月から国民健康保険が都道府県と市町村の共同運営になるが、制度の中身はどう変わるのか。県の役割や市の役割、今後のスケジュールはどうなっているのか。</p> <p>(2) 今でも高すぎる保険料の新制度における見通しはどうか。 (要旨) 国民健康保険に加入している世帯は、所得の低い世帯が非常に多いが、所得に対する保険料の割合も他の保険と比べると高い。新制度では保険料は下がるのか。</p> <p>(3) 一般会計からの法定外繰り入れはどうなるのか。 (要旨) 現在、本市では一般会計から法定外繰り入れを行い保険料の上昇を抑えているが、新制度においても法定外繰り入れは行うことができるのか。</p> <p>(4) 市独自の減免制度は引き続き適用できるのか。 (要旨) 本市は、条例により独自の減免制度、徴収猶予、延滞金の減免制度を設けているが、引き続き適用できるのか。</p> <p>(5) 現在4方式である保険料賦課方式はどうなるのか。 (要旨) 兵庫県では、所得割、平等割、均等割の3方式を基本とする方針が示されている。本市も国民健康保険運営協議会で資産割を廃止し、3方式への変更を検討しているが、今後の見通しはどうか。</p> <p>2 市民の安全対策について</p> <p>(1) 西明石駅の西側にある南畑踏切の安全対策について (要旨) 西明石駅の西側にある南畑踏切は、渡る距離が35メートルと長く、遮断機が下りている時間も長い。地域の方との話し合いが行われていると聞いており、歩道橋設置の要望も出ているが、国の補助金を受けて実現する見込みはあるのか。</p> <p>(2) 八木松陰線交差点の安全対策について (要旨) 八木松陰線拡幅工事完了時には信号機が設置されると期待していたが実現されなかった。見通しが悪く、交通量もふえている上に、明石医療センターも近いため救急車の通行もふえ、いつ大きな事故が起きてもおかしくない状態である。安全対策について聞く。</p> <p>(3) パピオスあかしの2階トイレについて (要旨) あかし市民広場でのイベント終了時、トイレが大変混雑している。混雑するだけでなく奥まった場所にあるため不便であり、人通りの少ない時間帯などは、女性や子どもが一人で行くのに防犯上危険であると考ええる。</p>		

発言順位	13	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<p>3 就学援助における入学準備金について</p> <p>(1) 要保護者の入学準備金について (要旨) 国の施策で増額され、入学前に支給するよう通知が出されたが、市ではどのように対応したのか。</p> <p>(2) 準要保護者の入学準備金について (要旨) 国の増額に合わせて、本市でも準要保護者の入学準備金が増額されたが、入学前支給についてどのように考えているのか。</p> <p>(3) 高すぎる入学準備金について (要旨) 中学校では入学準備金が10万円程度必要と言われており、その上クラブのユニフォームなどにも二、三万円が必要になる。子どもの貧困が問題になっており、ひとり親世帯では約50%が貧困状態だと言われている。教材、制服代等を安くする工夫はされているのか。</p>		